

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2005年6月14日

### 2005年6月12日現在：

6月12日に終わる週の気象は、全州にかけ低温気象であった。州東部中央地区の最高気温は76~81度Fであったが、平均気温は平年を5~7度F下回った。SE地区の最高気温は71 (Pullman) ~85度Fであったが、平均気温は平年を4~6度F下回った。降雨は少なく、中央乾燥地帯ではRitzville 観測所で0.12インチを記録したが、他の観測所では降水量はゼロであった。SE地区ではSpokane、Walla Wall 東部、Whitman 郡では1週間の降水量は多くは無かったが時々降雨があった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.7日(前週：5.8日)であった。Whitman 郡並びにSpokane 郡では、湿潤・低温気象の為小麦に黄さび病 (strip rust)、赤錆病 (leaf rust)、Hessian Fly やその他の害虫が発生した。その駆除の為の薬剤散布が実施された。Adams 郡、Lincoln 郡の出穂中の冬小麦は良好な条件となったが、更に水分を必用とした。Whitman 郡の低目の気温は小麦の生殖生長には有効であった。冬小麦は全体の95% (5年平均：79%) が出穂した。春小麦の60%が出穂した(昨年：47%、5年平均：38%)。生育は順調と報告された。冬小麦の作柄は前週と略同じ評価であったが、春小麦の作柄評価は前週より多少上がった。

6月10日USDA発表の6月1日付け冬小麦生産量予想では、単位収量は69.0 bu/acrであり、5月1日予想より1.0 buの増加であった。出穂後の低温・湿潤気象がプラス要因と言える。詳細は別表の通り。

### 土壌水分及び灌漑用状況 : 6月12日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	1	23	72	4
5-Yr Ave.	7	26	62	5
Subsoil (%)	10	35	55	0
5-Yr Ave.	5	35	58	2
Irrigation W.	8	15	77	0
Irr. Water Ave	0	1	98	1

Ave. means 5-year average

### 小麦の生育状況：6月12日現在

	This week	Last week	2004	5-yr. Ave.
Winter Wheat Headed (%)	95	87	88	79
Harvested (%)	0	0	0	0
Spring Wheat Headed (%)	60	40	47	38

### 小麦の作柄状況：6月12日現在

次ページへ：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat					
Dryland (%)	1	3	22	52	22
Irrigated (%)	0	0	13	67	20
Spring Wheat					
Dryland (%)	0	8	28	59	5
Irrigated (%)	2	1	17	70	10

Source : Washington Agricultural Statistics Service, USDA

6月1日付けUSDA冬小麦生産量予想 :

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				May 1	June 1		
Crop							
WA	1,750	1,850	67.0	68.0	69.0	117,250	127,650
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	44.1	1,499,434	1,545,971

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃 : <mailto:ogawa.max@omicnet.com>